

令和5年1月27日

総合政策課

電話 0742-34-4786 (直通) 2210、2030 (内線)

2023年2月19日に県コンベンションセンターで開催・県内市町村で初の万博関連行事 大阪・関西万博連携「奈良市×万博キックオフシンポジウム」を開催

2025年に開催される大阪・関西万博を奈良市にとって飛躍の機会にするべく、奈良県内の市町村が主催するものとしては初めてとなるシンポジウムを開催いたします。

奈良市の持つ強みを活かし、万博とどう関わっていくのか。さまざまなアクションへとつなげるべく、各界の著名人や有識者をお招きし、基調講演や3つのテーマでパネルディスカッションを実施します。ぜひともお気軽にお申し込みください。

記

1 日時・場所

- ・日時 令和5年2月19日(日) 午後1時30分～午後4時30分
- ・会場 奈良県コンベンションセンター(近鉄新大宮駅徒歩約10分)

参加費無料
申し込みは
HPから▶



2 内容

基調講演(60分)

1 2025年大阪・関西万博という機会の最大化(30分)

講演者：齋藤精一氏(パノラマティクス 主宰/2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター)

建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2006年(株)ライゾマティクス(現・アブストラクトエンジン)を設立。社内アーキテクチャー部門『パノラマティクス』を率いる。2018～22年グッドデザイン賞審査委員副委員長。2020年ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー。2025年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター。



2 空飛ぶクルマと未来のかたち(30分)

講演者：中村翼氏(有志団体 Dream On 代表)

2009年トヨタ自動車(株)に入社し量産車設計に従事。2012年、業務外で有志団体 CARTIVATOR を設立し、空飛ぶクルマの開発を開始。トヨタグループ含む100社のスポンサー支援の下、日本初の有人デモフライトを達成。2018年に独立し、現在は起業家兼慶應大・空飛ぶクルマラボ特任助教。さらに、2021年より有志団体を Dream On と改称し、未来生活体験テーマパークの開発に挑戦中。





大学は地域をどう変えるか

人口減少やコロナ禍が加速させた DX など社会構造やパラダイムが大きく変化するなか、高等教育機関に求められる役割も変化が起きている。本市は中核市の中でも大学生数上位（7 位）にあり、変革する大学が、特に地域産業に与える影響を議論する。

-登壇者-

秋山咲恵氏 株式会社サキコーポレーション 創業者

株式会社サキコーポレーションを 1994 年に創業、2018 年まで代表取締役社長を務めた。電子機器の自動検査装置メーカーとして世界ブランド構築。社長退任後は、日本を代表する企業の社外取締役や公職はじめ多くの仕事に関与している。

今岡春樹氏 奈良女子大学長

工学博士。2013 年に学長就任後は、トランスジェンダー学生の受け入れ表明や、奈良教育大学との法人統合、さらには 2022 年には日本の女子大学として初めて工学部を設立するなどの改革を推進してきた。

塩崎一裕氏 奈良先端科学技術大学院大学長

理学博士。元米国・カリフォルニア大学教授。2021 年に学長就任後、“共創”を掲げる「学長ビジョン 2030」を発表し、けいはんな学研都市の中核機関として地域連携の取組も推進している。



持続可能な社会モデル構築の挑戦

日本は世界の中でも超高齢化・人口減少が進んでいる。本市が中山間地の月ヶ瀬地域で取り組んでいる、地域住民や地域の多様な組織・団体の主体的な支え合いのもとで課題解決を図ろうとする新たな社会モデル構築のプロジェクトをモデルケースとして、今後の社会モデルを議論する。

-登壇者-

伊藤忠通氏 奈良県立大学名誉教授

前同大学学長。学長在任中の 2013 年には「地（知）の拠点」大学選定の取組を推進した他、フィールドワークを重視した教育を導入するなど、地域との関係強化に努めた。奈良市総合計画審議会会長を務めた。

熊野英介氏 アミタホールディングス株式会社代表取締役会長兼 CEO

公益財団法人信頼資本財団代表理事。持続可能な社会の実現を目指すアミタグループを率い、100%リサイクルをはじめ社会ニーズに先駆けた事業・サービスを展開。ステークホルダーとの共創による事業の創出に取り組んでいる。

林篤志氏 一般社団法人 Next Commons Lab 代表理事

Next Commons Lab ファウンダー。2016 年に Next Commons Lab を創業し、ポスト資本主義社会を具現化するための社会 OS「Local Coop」をつくっている。自治体・企業・起業家など多様な領域と協業しながら、地方から新たな社会システムの構築を目指す。

仲川げん 奈良市長

奈良市長（4 期目）。2009 年に当時全国で 2 番目に若い 33 歳で初当選。2011 年に「日本を立て直す 100 人」（AERA）に選出。2015 年に中核市長会会長就任（～2017 年）。



万博は奈良市をどう変えるか

世界最大級のイベントである万博には、多数の来訪者が想定されている。また、未来社会の実験場をコンセプトに開催される今回の万博では、今後社会のありかたを変える取り組みの出現も考えられる。万博が本市にもたらす影響・機会と、その活用について議論する。

-登壇者-

齋藤精一氏 パノラマティクス主宰/EXPO 共創プログラムディレクター

齋藤潤一氏 一般財団法人こゆ地域づくり推進機構代表理事

米国から帰国後、東日本大震災を機に地方創生に携わる。ブランド化した1粒千円のライチは国の地方創生優良事例に選定。総務大臣賞受賞。本市一条附属中アドバイザー。

白井智子氏 NPO 法人新公益連盟代表理事

Sustainable Innovation LAB 共同代表。2003年に全国初の公設民営フリースクールを設立する等、主に教育分野で活動。2020年に様々な社会課題の解決・新しい社会の創造を目指す新公益連盟の代表理事に就任し、政策提言活動などを行っている。

羽端大（はばただい）氏 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会企画局企画部企画事業課長

クロージング・閉会 30分

3 申し込み先/期間

- ・ 申込先
奈良市Webサイトにて申し込み
- ・ 期限 2月14日（火）



4 2025年大阪・関西万博について（開催概要） <https://www.expo2025.or.jp/overview/>

- ・ 名称 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
- ・ 会場 大阪 夢洲（大阪市臨海部）
- ・ 開催期間 2025年4月13日（日）～10月13日（月） 184日間
- ・ 来場者数（想定） 約2,820万人
- ・ テーマ いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）
- ・ サブテーマ
 - Saving Lives（いのちを救う）
 - Empowering Lives（いのちに力を与える）
 - Connecting Lives（いのちをつなぐ）

・コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）

- ①展示をみるだけでなく、世界 80 億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- ②万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- ③人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

5 万博を活用する奈良市のねらい～万博以後も加速装置として活用～

開催年である 2025 年までに、現在奈良市が取り組んでいる政策や産業を強化します。

また、開催時には積極的に万博会場やさまざまな地域からの誘客を行います。万博開催を最終目標として捉えるのではなく、2025 年以降も「加速装置」として活用したいと考えています。同じ課題に取り組んでいる地域（行政）や日本全体の「先駆者」となり、また「最良のケーススタディ（ロールモデル）」となるような試みを、積極的に行っていきます。

